

日刊動労千葉

85. 12. 10

No. 2114

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

不当処分攻撃あれば、年末・年始ふきとはす怒りの反撃を確認

東京争大勝利にふれ 第二波準備



国鉄「分割・民営化」阻止、三里塚二期着工粉碎
スト統括集会

12.9スト統括集会

東京争勝利不正処分粉碎
スト統括集会

十二月九日、十八時より、千葉市民会館において「十一・二八・二九スト統括集会」が開催され、この歴史的ストライキの意義と正義性をしっかりと確認するとともに、追いつめられた中曾根・杉浦の凶暴な弾圧、処分攻撃と真向から対決し、第二波、第三波を怒りの決起で闘いぬくことを、全体で確認した。

十二月九日、十八時より、千葉市民会館において「十一・二八・二九スト統括集会」が開催され、この歴史的ストライキの意義と正義性をしっかりと確認するとともに、追いつめられた中曾根・杉浦の凶暴な弾圧、処分攻撃と真向から対決し、第二波、第三波を怒りの決起で闘いぬくことを、全体で確認した。

全組合員が確信とほこり

集会は、水野副委員長の開会宣言で始まつた。

来賓あいさつの最初に立った全造船石川島分会委員長佐藤芳夫氏は「全労働者が動労千葉の決起に感動し、動労千葉を守れという気持ちになつてゐる。一人一人が確信とほこりをもつて頑張つてほしい。

全国の支援・連帯の声を組織し、一億円カンパを必ず貫徹する」と、共に闘う決意を述べられた。

動労千葉顧問弁護団の清井弁護士は「大量不当処分攻撃は、闘争に恐れをなし当局・権力の第二、第三波のストつぶしだ。弁護団は体制をととのえ、勝利まで共に闘う」と決意を明らかにした。

第一波、第三波の先頭にたつ

一千葉軒・津田沼

両支部代表決意

続いて、十一・二八・二九ストを最前面で闘いぬいた両支部長より闘いの報告と決意を受けた。

千葉運転区・永田支部長は「権力・当局の弾圧を打ち破り支部一一四名は、自信と確信をもつてストに突入した。これからが勝負、ストに恐怖した当局の大反動にためらうことなく、第二波、第三波の先頭にたつ」と烈々たる決意を明らかにした。

津田沼支部の重見副支部長は「不当処分には第二波、第三波で断固闘う。われ

われの闘いの中で二名の国労の仲間が動労千葉に加入した。これはわれわれの闘いの正義性を示すものだ。今後も全力で闘う」と確信にあふれた決意を明らかにした。

満場の拍手の中で国労から動労千葉に加入し、ストを闘いぬいた仲間が立ち「動労千葉と共に最後まで闘う」とキッパリと決意を明らかにした。

暮・正月を返上し、怒りの総反撃にたつ

総括集会に立った中野委員長は、歴史的ストを闘いぬき勝利した全組合員に心よりの敬意を表明するとともに、今次闘争により①分割・民営化の凶暴な本質を暴き出し国論を二分することに成功した。

②国鉄ゼネストへの突破口を切り拓き、確実に敵の攻撃のスピードをぶらせる大成果をかちとつた。と、闘いの意義と成果を明らかにした。

さらに、闘いの波及力に恐怖した敵の処分、弾圧については、暮も正月も返上しあらゆる手段で反撃する。十一・二八・二九ストの偉大な成果を十万人首切り粉碎の高揚につなげるか否かは一切、千百組合員の不動の確信と強固な團結、怒りの決起にかかっている。全員火の玉となつて闘おう」と訴え、圧倒的拍手で確認された。

集会は、布施書記長の閉会あいさつ、委員長の団結ガンバローで終了した。

全組合員・家族の強固な團結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！